



熊本市 感染症発生動向調査 速報



今週は◆手足口病が警報レベルになりました!!◆流行性角結膜炎（はやり目）が2倍以上。◆感染性胃腸炎◆A群溶血性レンサ球菌咽頭炎◆水痘も先週より増加中です。こまめに流水による手洗いを心掛けましょう。

●手足口病について

◆どんな病気？コクサッキーウイルスをはじめとする、エンテロウイルスの感染によって、口の中や、手足などに小さな水ぶくれ（水疱）ができる感染症です。発生の9割が、5歳以下の乳幼児です。

・症状……※口の中、手のひら、指、足の裏などに2～3mmほどの水疱性発疹が出ます。この水疱は、かゆみがなく、痂皮（かさぶた）を作らずに治るのが特徴です。発熱を伴うこともありますが、38℃以下の場合がほとんどです。潜伏期間は3～5日程度です。※近年、口の中の水疱性発疹が確認出来ない症例もあります。

・感染経路…感染者のくしゃみのしぶきや鼻水、水疱、便の中に含まれるウイルスが、手などを介して口や鼻の中に運ばれることによって感染します。症状がなくなったあとも、2～4週間は便の中にウイルスが排泄されます。

・流行期……夏（7月下旬ごろ）にピークを迎えますが、秋から冬にかけても少し発生がみられます。

◆かかったらどうすればいいの？ほとんどの場合、特別な治療は必要なく自然に治りますが、まれに髄膜炎や脳炎を合併することがあります。元気がなくぐったりしていたり、頭痛や嘔吐、高熱、2日以上発熱があるときは、すぐに医療機関を受診しましょう。口の中を痛がって、水分や食事がとれなくなることがあります。薄味でやわらかいもの、白湯やスポーツ飲料などをこまめにとらせ、脱水にならないようにすることが大切です。

◆予防法は？手洗いが基本です。特に感染者の排便後の手洗いが重要です。感染している子どものおむつを取り替えたり、鼻をとったりした後は、しっかり手を洗いましょう。



期 間		平成30年 21週		平成30年 22週	
		5/21～5/27		5/28～6/3（最新）	
疾患名 <small>（百日咳は平成30年1月1日より全数報告へ変更になりました）</small>	疾患の増減	報告数	定点当り	報告数	定点当り
インフルエンザ		3	0.12	4	0.16
RSウイルス感染症		3	0.19	1	0.06
咽頭結膜熱（プール熱）		19	1.19	11	0.69
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		25	1.56	37	2.31
感染性胃腸炎		129	8.06	139	8.69
水痘（みずぼうそう）		7	0.44	11	0.69
手足口病		79	4.94	95	5.94
伝染性紅斑（りんご病）		2	0.13	0	0.00
突発性発しん		15	0.94	14	0.88
ヘルパンギーナ		1	0.06	0	0.00
流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）		0	0.00	0	0.00
急性出血性結膜炎		0	0.00	0	0.00
流行性角結膜炎（はやり目）		11	2.20	24	4.80
細菌性髄膜炎		0	0.00	0	0.00
無菌性髄膜炎		0	0.00	0	0.00
マイコプラズマ肺炎		0	0.00	0	0.00
クラミジア肺炎（オウム病を除く）		0	0.00	0	0.00
感染性胃腸炎（ロタウイルス）		0	0.00	1	0.20